月刊婦人政治雜誌

婦選

昭和二年　三月號　第一卷第三號

◇婦選第三號主要目次◇
▼婦選同盟對政黨政策
▼世界の平和と婦選……和田富子
▼英國の婦選…ガンドレット恒子
▼婦選と民衆政治の基礎　山田わか
▼婦女禁賣保留徹廢…久布白落實
▼なぜ婦選がほしいか　八木橋きい
▼婦選案の提出になる迄　鹽原靜
▼家庭婦人と婦選運動…石本靜枝
▼春のおとづれ……關口冬子
▼雛をつくる……水町京子
▼婦選問答……赤猪子
▼陣頭の人々久布白女史　伊藤伸子
▼自由民權の歌……福田英子

婦選獲得同盟の對政黨政策

◇

無産婦人の間に婦人の政治的團體を組織したいとの要望は、昨年の秋頃から頻りに起つてゐたが、本年に這入つてから奥むめお、山内みな、田島秀、岩内トミヱ、長島暢子、坂本眞琴氏等によつて愈々具體化され、二月初め、婦人參政權を初め勞働婦人の保護、公娼廢止、母性保護等を目的とする、婦人同盟の創立準備會が開催されるに到つた。

然し右準備會後、發起人間に意見の相違を來したとかにて、未だ創立の運びに到らず、或は未成立に了るだらうとも噂されてゐる。

◇

同會に就いての論評は其の成立を俟つてするを適當と考へるのでこゝでは控へるが、その準備會開催の節各方面に配布した趣意書中に掲げられてゐる「──已に婦人の政治的團體として活動してゐるもの二三あるにも拘らず、何れも女權の追求に急の餘り、兎角婦人大衆の當面の問題には冷淡である憾みが少くなく──殊に其等の婦人團體が今日では年中行事的にさへなつた議會運動に、其精力の大半をすり減しつゝ賴むべからざる已成政黨の手に縋らうとしてゐる──」なる批難は、特に婦選獲得同盟に與へられたものでないが、これを機會としてそれ等の問題に對する我等の態度の一斑を闡明する事とする。

◇

我婦選獲得同盟は婦選の獲得のみを其の目的として組織されてゐるものである。

然しながら之は女權の追求に急のあまり、婦人大衆の當面の問題を忘れた爲めでもなければ、亦之を冷淡視した結果でもない。それは單に團體としての政策から來てゐるに過ぎないのである。

同盟はその成立の歴史が示してゐる如く、婦選獲得なる共同目的の爲めの大同團結であつて其の構成分子は極めて廣汎に亙つてゐる。

從つてかくの如き團體に於てよく共同一致の實を擧げん爲めには、其の目的の範圍を極度に限定することが必要なことである。之れ我等が目的を婦選獲得の一事に限り、其他の女子教育問題、婦人勞働問題、職業婦人問題等に就いては會員各自がそれぞの所屬團體に於て努力すべきことを慫慂するにとゞめてゐる所以である。

◇

會議運動に對しては、其の爲に精力の大半をすりへらす事の無意義なるは我等が常に唱へてゐる所であるが、婦選の獲得が法律の改正にある以上、婦選運動として當然なすべき一方面の運動である事も亦否むことが出來ない。

我等の對議會運動といふのは代議士をして婦選案を議會に提出せしめ、これが通過に努力せしめる運動である。

從つて此運動には當然代議士乃至は政黨と直接間接に交渉を持つ事になるのであるが、此點について、婦人同盟は、賴むべからざる已成政黨の手に縋らうとしてゐると、批難してゐる。

他の團體は知らず、少くとも我等は已成政黨の何れにも縋らうとしてゐない。否、已成政黨のみならず、最近簇出した無産政黨に對しても、特に無産政黨なるが故を以て縋らうとしてはない。

若し已成政黨よりも、より深い交渉を持つとしても、それは、無産政黨が何れも婦人參政權を其の綱領に掲げてゐるからで、これを無産政黨を背景として立たんとする婦人同盟に比すれば判然と其の運動の方向を異にしてゐる。

即ち我婦選獲得同盟は、政黨に對してはどこまでも中立の立場に置かるゝもので、政黨の一般的政策に關しては全然白紙を以て望むものである。（市川）

婦選ニュース

▽婦選諸案の提出

本年の議會運動は既報の如く婦選各團體聯合で行つた爲、非常に好成績で、二月十五日先づ參政權案が、新正クラブの坂東幸太郎氏以下四名により提出された。賛成者は各派を併せて七十名。次で結社案は憲政會の山桝儀重氏以下六名の提出者、賛成者は九十六名の多數で十七日提出、公民權案も已に七十二名の賛成者を得、新正クラブの山口政二氏以下七名の手で數日中に提出をみる筈、何れも改正法律案で、月末から來月初にかけて上程、その上は同一委員會に附託されやうといふので、各團體では上程に對して、演說會其他の催によつて氣勢を擧げやうとしてゐる。

▽坂本眞琴氏の婦選行脚

婦選獲得同盟の坂本眞琴氏は一月下旬信州各地の山村を廻つて、處女會員、青年團員に婦選の講演を行つたが、各地とも非常な盛況で、伊那町、美薗村、牛良村等何れも聽衆五百名に達した。

尚同會の理事田中芳子氏も一月廿三日日本工人クラブの總會に於て婦選の講演をした。

▽東京聯合婦人會と婦選

一月卅日の東京聯合婦人會總會に於て新委員長吉岡彌生氏は婦選の必要を力說し、大に此運動の爲に、加盟各團體の奮起を促す所があつた。留來櫻楓會その他從來この方面に余り積極的を態度示さなかつた團體の內部に、頻に新しき力が働かうとしつゝある。

▽婦人政治運動促進會

奥むめお、坂本眞琴、永島暢子氏等數名の發起で、婦人勞働問題、廢娼問題、婦選問題を政治的行動によつて解決する爲の上記の會が創立されようとし、二月五日相談會が主婦之友社樓上に催されたが、その後未だ準備中で發會の運びに至つて居ない。（二月廿二日記）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

支那の時局

□

最近一ケ月の支那時局の急激なる變化は寔にその跡を辿るのも困難な程である。事の起りは遡れば一昨年五月上海で支那學生が英國巡査に射殺された事件に發し、全支に漲る排外氣運は、狂瀾怒濤となつて今や止まる所を知らざる有様である。

排外運動の鋒は先づ英國に向けられ、南方支那の一大勢力たる廣東政府（國民政府）が共産派の手中に歸するや、先づ排英經濟斷行により香港貿易に一大打撃を與へ、次で本年正月漢口の英租界に於ける支那群衆と英陸戰隊の衝突を機として國民政府の革命軍は長驅、漢口、武昌九江等の、上海と共に英國が百年以來築き上げた對支活躍の根據地の警察權を握り、事實上の占領をなした。

漢口事件に關して國民政府は英國側に八ケ條の要求を提出し、兩國間に右の交渉、並に漢口、九江の英租界を英國官憲に還付の件につき、交渉が開かれたが、それは非常に順調に進み、一月卅日には調印といふ所まで運んだのに、二月一日支那側は突如調印を拒み、英支交渉は破烈した。之は一月二十五六日頃より英國が、主として上海防備の目的を以て約二萬の出兵を開始したとによる。

□

これよりさき英國は南方政府に始終苦しめられてゐるので、舊臘公使の更迭を行つて、對支政策の一新生面打開を試み十二月十八日、第一回提案を試みた。

これは全支に亘り關税二分五厘、五分附加税の遂時無條件徴收を許さうとするもので、南方政府の意を迎へる爲の打算であつたが、事實は兩政府のうけも惡く日本は正面から、米國は暗に反對した。かうした折も折漢口事件は勃發したので英國の面目も利益も一時に剥がれた觀があつた。

一月二十七日英國は更に第二回の大々的讓歩を意味する提案を南北兩政府に、試みると同時に十三大隊約二萬の陸軍其他の對支出動を命じ、決意の那邊にあるかを示すに至つた。

所が出兵反對が猛烈に英國内に起り勞働黨は最も強硬に出た。勿論支那では國民政府が、漢口交渉の調印を拒む、北京政府も正式の抗議をつきつける。この出兵のおかげで上海に於ける地位を余程確實に出來た孫傳芳までが強硬な抗議を持ち出すといつた騷ぎで、英國軍隊は、僅かに一個大隊を上海に上陸させたのみで殘りはシンガポールに留める事にして漸く落着させるとになつた。

然し乍らこの出兵は將に上海を手中に陷れんとしてゐた國民軍には大打撃であつた。

□

今や上海は爭奪戰の渦中にある。上海に噛りついて離れまいとする孫傳芳は國民軍の來襲を支へきれず、北方張作霖に救を乞ふた。對支貿易四割の商品を集散する商灣上海を領有するとは、蓋し年額數千萬圓財源を確得する所以であるとを思へば、南北軍が必死に爭ふのも當然であらう。

玆に於て米國は二月四日南北兩政府に對し上海中立の提議をなしたが、今日の支那は、その南北何れたるを問はず、支那のものを支那に取返せといふ國民の要望をモットォとしてゐる爲、從つて米國の提議は大勢に反抗するものとされ、更にその提議がロンドン政府の暗示に出づるものとさへ見られてゐる。

□

我國の對支政策は一月十八日議會に於ける幣原外相の演説に窺ひ得るが、その骨子は不干渉主義である爲に、南方政府は日本が自分等に好意を有してゐると解してさへゐるが、とにかく列國の態度如何により今後の變局は全く想像する事が出來ない狀態に在る。

米國の軍縮提案

二月十日米國大統領クーリッヂは突如第二軍縮會議を提案した。即ちワシントン海軍制限條約加盟たる日英佛伊四ケ國に覺書を送り、來るべきジュネーブ軍縮會議に於て補助艦制限に關する協定を締び得べき全權の派遣を要求したのである。米國は元來軍縮會議は國際聯盟を離れ、華府會議の延長として自ら召集したいのであつたが、軍縮問題は已に國際聯盟の仕事であり、昨年以來準備委員長の事業が急がれつゝあり、愈々本年三月準備委員總會を開く所まで來て居る。そこで兩方を上手に結びつけやうとしたのがこの提案である。

六年前の華府會議に議せられた海軍軍備縮少は戰鬪艦と航空母艦で、他の補助艦即ち巡洋艦、驅逐艦、潜水艇には及んでゐないので、之等を今回協定しやうといふのである。然して其比率も主力艦の英五、米五、日三の比率に準じ佛伊兩國は會議で決めやうとして居る。

之に對して英國は贊成、日本は比率の點で條件附の贊成、佛伊は海軍だけを分離協定は不可能と婉曲に反對を示してゐるから米國が力瘤を入れてゐる割に成立は危まれてゐる。成立するにしてもその實際的價値は余り多く期待されないとされてゐる何故なら、實質問題としての軍縮會議の困難が英佛意見の不一致にあるからである。

更に米國提議の動機も問題で、特に米國が國際聯盟の仕事に割込む必要の發見は困難であつて、寧ろ次期大統領選擧運動の一部として思ひ付かれ、共和黨の内政上の失敗を、外交的勝利で挽回しやうとするものではないかとさへ見られてゐる。（二月廿四日記）

嗚呼山口政二代議士

病軀を押して第五十二議會に臨み、婦選案の提出に專心盡力せられた新正クラブ代議士山口政二氏は、二月廿二日突然院内に於て卒倒、昏睡遂に醒めず、廿三日夜夫人及幼き三子を殘して永眠された。享年四十一。氏は特に本年は公民權案の説明者として原案起草中であつたが何事も忽せにせざる氏の性格から案を再三訂正し、漸く一兩日中氏に依り提出されんとする矢先、此計を見たので、今日の議會に氏ほどの理解ある正義の鬪士は稀であつた。實に氏の死は婦選運動上大なる損失、弔んでも余りある事である。

時事抄

▼豫算案の通過と政局

憲、政、本の三黨首申合に依り、昭和二年度總豫算案は豫定の如く二月十日衆議院本會議に於て、滿場一致に近き壓倒的多數を以て、無條件の儘通過し、直ちに貴族院に廻された。若槻内閣が議會終了後總辭職するか否か、内閣投出ならば後行繼は憲本内閣か、政本聯立か將又中間内閣出現の余地ありや、今月の所全く今後の政局の赴く所と豫測し難い狀態にある。

▼二十五才禁酒法案上程

矯風會守屋東氏を陣頭に白熱的運動の結果飲酒禁止年齡を廿五歳に引上げやうとする該案は竹原代議士他十六名により提出、二月十七日衆議院に上程され質問演説に花を咲かせた上で、九名の委員に附託された。

▼花柳病豫防案と廢娼案

右二案は何れも婦人に特に關係深き重大案であるが前者は近々上程の見込、廢娼案は矯風、廓清兩會の盡力で改正法律案として提出される筈である。

兒童扶助法は、本年は政府が提出の筈であつたが、豫算の關係上中止された。婦人の直接投票を認むる商工會議所法改正は政府案として近く提出を見る筈である。

▼無産政黨民衆大會

二月十一日社會民衆黨は芝、勞働農民黨は上野の各公園で何れも議會即時解散の示威大會を催した。其他の農民黨、日勞黨も皆總選擧の對策研究に、又支部組織に忙しい。

▼大山事件て早大騒ぐ

早大大山教授留任運動の急先鋒學生九名に對し、學校側では十九日突如何等の理由を示す事なく退學を命じたので、廿日夜校友代表二名が眞相を明かにせんと田中理事宅に赴いたが、面會強要として早稻田署に檢束された爲、事件は惡化し廿三日永井柳太郎氏以下校友先輩發起の大會を開き、學校當局の反省を促す事となつた。

▼兒童求職者事務開始

卒業期を前に控えた東京市部三百五十の小學校兒童の一割は職を求めて世に立たねばなら者だが、本年は十八日より府立少年相談所に、社會局側より出張して職業紹介事務を執り、三越初め大番主が出張、選抜試驗を行つてゐる。

▼婦人求職者の賣行よし

東京市社會局が此程調査を完了した昨年度の就職調べは、女子の專門學校卒業生の就職率は前年に比し六割の好成績を示してゐるが、本年度も巳に日本、東京の兩女子大大學を初め、東京女子醫學女高師等殆ど豫約濟の狀態、多くは教員初任八十圓以上である。

▼東西女醫專の紛擾

指定問題から同盟休校まで惹起した東京女子齒科醫專では其後愈借財整理でも成つたので廿五六日迄文部省も指定を許可する筈。同時に問題の大久保校長は辭任の豫定で、無事解決に至つたが、一方大阪女子齒科醫專は校舍建築支拂問題から建築請負者と學校當局間に紛擾起り、係爭中の爲、本校舍は封鎖されたので、生徒側は府に對し監督方を願出でた。

▼新母性運動起る

東京市社會教育課では、三月六日の地久節に母の日の催を全市で行ふが、赤十字社でも三月八日より一週間、兒童と母保健性講習會を開催し、母性運動に力を入れる。日本女大では昨年地久節に母の會を創設したが、本年は、皇太后御誕辰日に擧行して、子は母への感謝を、母は母として道を修める爲に一日を費すやうに計畫中。

▼愛國貯金の發表

勸儉奬勵委員發起の愛國貯金は愈々十日の協議で實行と決した。これは一日一錢、六年据置以て外債十五億の償還に充てるもの。

▼保姆恩給改正運動

昨年制定の恩給法では保姆も恩給を受けられるが、同法九十九條に依り支給法の發布前の保姆は支給されない爲、同條項の改正運動を、全國保育協會では今議會に對して起した。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦選諸案の提出される迄

婦選獲得同盟議會運動委員會委員長 鹽原靜

◇

第五十二議會に提出されたる婦選諸案の詳細は前號に書かれてありますから省き、提出になる迄の經過を申上げます。

婦選團體聯合議會運動の申合せにより、各團體の代表者は、毎本會議日(火、木、土)院內面會室に集り(婦人參政同盟―高橋千代子氏、高木富代氏、女子參政協會―山根菊子氏、婦選獲得同盟―鹽原靜、日本婦人參政權協會は殆ど不參でした)共同で代議士に面會して運動をしました。

提出者は、各派より、殊に今迄は政友本黨、實業同志會より提出した事がないので其方面からもと、種々苦心しました。

◇

二月一日院內燕樂軒に提出者及び贊成者の出席を願ひ『案』の説明者を提出者間の協議によつて協定いたしました。其時御病氣のため提出者の一人松本君平氏は缺席でした。五日に各々の『案』を受取る約束でした。

二月五日は大雪の故か、他の團體からは一人も見えず私が『案』を受取りました。

『參政權』坂東幸太郎氏、(新政クラブ)『結社』山桝儀重氏(憲政會)

此日松本君平氏は御病氣後初めての登院にて、參政權の提出者の一人故、坂東氏よりの『案』をお見せしたところ、別に何らの異議も申されませんでした。

所が二月十日に『參政權法律案』は贊成者名を連記して提出にならうとするに當つて、松本君平氏より、突然修正案が出ました。

曰く『實施の方法及び期日は勅令として公布せしむ。』を付加へる事『勅令云々』を付加へない時には、提出者としての名を消して貰ひたい十五日に各團體より否やの返事を貰ひたい。』と云ふお言葉でした。婦選獲得同盟としては、

『案の内容に關した事故、他の提出者同志で御協議下さる事。條件は付けたく無し。』

と云ふ返事を松本氏に出しました。參政同盟も同意見。女子參政協會(山根菊子氏)だけは松本氏の意見に贊成でした。此ために、婦選團體の協調は、女子參政協會によつて破られたのです。松本氏の名を消す事を遺憾とされた山口政二氏は種々調停して下さいましたが、松本氏が勅令云々を保持された結果、參政權提出者として松本君平氏の名を消すととなり、ために五日遲れて二月十五日愈々『參政權法律案』は提出されました。

●提出者―坂東幸太郎氏(新)原夫次郎氏(本)千葉三郎氏(實)加藤鯛一氏(憲)

●贊成者―六十七名

大正十四年法律第四十七號衆議院議員選擧法中改正法律案

大正十四年法律第四十七號衆議院議員選擧法中左ノ通改正ス

第五條一項及二項中各『タル男子』ノ四字ヲ削ル。

右理由書

女子ニ衆議院參政權ヲ附與スベシトノ建議案ハ既ニ數回ニ亘リ全會一致ヲ以テ本院ヲ通過シ、國民齊シク其ノ實現ノ速ナランヿヲ期セリ。想フニ澎湃タルデモクラシーノ思想ハ地上ニ横溢シ、殊ニ男女ノ兩性、互ニ砥礪シ、共ニ勤勉スル事ニ依リテ、眞ノ人類ノ福祉ト、世界ノ平和ヲ促進スベキモノナリトノ思想ハ、尠クトモ文明國ヲ通ズル滔々タル潮流ナリ。我國ハ開闢以來兩性竝立シ、敢テ侮蔑ヲ以テ女子ヲ遇セズ。然ルニ爾來度々起レル史實ノ變遷ハ兩性問題ニ影響シ、前ニ在リテハ孔孟及佛敎ノ女性觀、後ニ在リテハ戰國亂世時代ニ於テハ弱肉強食ノ蠻風ニ災セラレ、遂ニ女子侮蔑ノ因習、性ヲ成スガ如キ觀ヲ呈シタルハ頗ル遺憾トスル所ナリ。今ヤ燕々タル昭和ノ新政ヲ迎ヘ、上ニ聰明雄俊ニマシマス新帝ヲ戴キ下ニ順和敎睦ノ國民ヲ有ス、須ク舊來ノ惡習ヲ打破シ、天地ノ公道ニ立脚シ、國民ノ本性ニ立還リ、世界ノ大勢ニ順應シ、國民ノ一半タル女子ニ參政ノ權利ヲ斷乎トシテ付與スル事ハ誠ニ昭和新政ニ副ヒ、邦家ノ興隆ニ獻益スル事、極メテ大ナルモノアリト信ズ是レ敢テ本案ヲ提出スル所以ナリ

◇

續いて二月十七日結社も提出されました。

●提出者―山桝儀重(憲)山口政二(新)坂東幸太郎(新)有馬賴寧(政)原夫次郎(本)千葉三郎(實)

●贊成者―九十四名

治安警察法中改正法律案

治安警察法中左ノ通改正ス

第五條第一項中、第五號ヲ削リ、第六號ヲ第五號ニ、第五號ヲ第六號ニ改ム

右理由書

近來女子ノ政治的自覺著シク、女子ニ關スル諸種ノ問題ヲ解決セントシ、若クハ國政一般ニ關シテ其意見ヲ貫徹セン爲ニ、政治運動ニ携ハルモノ次第ニ多キヲ加フルニ鑑ミ、之レカ合法的結社ノ自由ヲ認ムル必要アリ、是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

◇

『公民權』は山口政二氏多忙のために延引し、廿二日に受取るお約束にて議院に行きしところ、山口政二氏卒倒重態との悲報に接し、ために改めての提出者に非常に困りましたが急を要する場合にて、坂東幸太郎氏重ねてお引受け下さる事になりました。かくて二月廿四日『公民權』が提出され、婦選三案の提出は了りました。

●提出者―坂東幸太郎氏(新)原夫次郎氏(本)土屋清三郎氏(新)千葉三郎氏(實)原惣兵衛氏(政)比佐昌平氏(憲)

●贊成者―七十二名

大正十五年法律第七十四號市制改正法律中改正法律案

大正十五年法律第七十四號市制改正法律中左ノ通リ改正ス

第九條第一項中『帝國臣民』ノ下ノ『タル』『及』『ノ男子』ヲ削ル

大正十五年法律第七十五號町村制改正法律中改正法律案

第七條中ニ於テ前市制ト同樣ノ改正

大正十五年法律第七十六號北海道會改正法律中改正法律案

第三條中ニ於テ前市制ト同樣ノ改正

右三案理由書

今ヤ地方制度ヲ改正シテ公民權ノ範圍ヲ擴張シ所謂普通選擧制ヲ採用シ既ニ數個市町村ニ於テ其議員ノ選擧ヲ施行セリ之ニ由ルニ從來普通選擧反對論者ノ危惧シタル所有權者ノ態度ハ實ニ公正眞摯ヲ極メ頗ル好成績ヲ收ムル事ヲ得タリ此實跡ニ鑑ミ更ニ公民權ノ範圍ヲ女子ニ及ボシ彼等ヲシテ地方自治政ノ上ニ其意思ヲ暢達セシムルコトハ地方政治ノ改善進歩ヲ計ル爲ニ頗ル効果アルベキコトハモハヤ爭フ可ラザルモノナリト信ズ況ヤ改正法中候補者公認ノ規定ヲ設ケ投票ノ範圍ガ其以内ニ局限セラレタルニ於テハ女子ヘ無理解ナル不適任者ヲ選ブベシトノ憂慮ハ根底ヨリ除去セラレタルニ於テヲヤ歐米ノ先進諸國最ニ女子ニ參政權ヲ附與シ以テ男女共存共榮ノ原理ヲ如實ニ示シ盛ニ經綸ヲ行ヒ文化ノ向上人類ノ幸福ニ寄與スルモノ極メテ多キニ拘ハラズ世界三大強國ノ一タル我ガ國獨リ女子ヲ時潮ノ外ニ委棄スルハ決シテ邦家經營ノ宜シキニ適ヒタルモノニアラズ故ニ速ニ之ニ公民權ヲ附與シ彼等ヲシテ天與ノ機能ヲ發揮セシメ昭和新政ノ實ヲ擧ゲムコトヲ期ス是レ本案ヲ提出スル所以ナリ。(二月廿四日記)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦女禁賣年齡保留徹廢

久布白落實

一

大正十年の初夏、ジエネーブの國際聯盟より一つの條約文が我國の政府に送られ、之れに調印を求めて來た。それは婦女兒童禁賣に關する國際的條約で、其主要文は左の通りであつた。

條約文

第一條　何人たるを問はず、他人の情慾を滿足せしむる爲、醜行を目的として、未成年の婦女を勸誘し、誘引し、又は拐去したるものは、本人の承諾を得たる時と雖も、又右犯罪の構成要素たる各行爲が、異りたる國に亘りて遂行せられたるときと雖も處罰せらるべし。

第二條　何人たるを問はず、他人の情慾を滿足せしむる爲、醜行を目的として詐欺に依り、又は暴行、脅迫、權力濫用其他一切の強制の手段を以て成年の婦女を勸誘し、又は拐去したる者は、右犯罪の構成要素たる各行爲が、異りたる國に亘りて遂行したるときと雖も罰せらるべし。

尙これに對し、各國政府の義務に關して國際聯盟よりの勸告文が附加して在つた。其中の一二は左の如きものである。

一、一九一〇年最後の議定書に在る(ロ)項にある年齡を、滿廿一歲に延長し、且つ之を最低限度とし、各國が更に之を高むる事を勸告す。

一、各國政府が、其養子に關する民法の規定に對して、充分なる保護を與へざる時は、之を改正すべき事を勸告す。

之れに對し我國では大正十年十月四日我が林大使は左記の宣言を附して調印した。

『下記署名の日本代表者は、政府の名に於て條約第五條（年齡の件）の確認を延期するの權利を保留し』且其署名は、朝鮮、臺灣、及關東租借地を包含せざる事を宣言す。

この事が內務省に通知されて來た時、內務省は、年齡の保留あるからには調印も止むを得ずと澁々承知の意を表した。然し其後震災や其他で奏請批准までにはな到らなかつた。

二

大正十四年に到り國際聯盟では更にこの條約の批准を求めて來た。そこで加藤總理大臣は閣議を開いて之を議し、林全權委員の附けた留保を確認し、保護すべき婦女の年齡を條約で滿廿一才とあるを、十八才とするの權利を留保し、十四年七月下旬初めて之を樞密院へ廻して諮問に及んだ。

同年八月廿四日より、炎天にも拘らず、樞密院は之を精査し、世界の數十ケの國家が、已に無條件批准を了したのに、我國のみ十八才との保留を附するは、帝國の道德標準を殊更に低くする所以で、誠に帝國の體面上不面目なりと激しい攻擊が相次ぎ、政府も終に屈して、樞密院の希望條件を容れ、出來得る限り速かに撤廢するとの言明を爲して、同條約は大正十四年九月廿八日を以て批准を了した。

三

當時國論は之れに對して沸騰した。特に敎育者、貴衆兩院議員、宗敎家社會運動家等は一齊に立つて、十四年九月十四日東京工業俱樂部にて有志大會を開き、年齡保留撤廢を叫んだ。

翌大正十五年五月警察部長會議の前後には、更に多くの代表的敎育者、新聞社、雜誌社、婦人團體、宗敎家、實業家等もこれに參加し、記名調印して、當局に迫るに到つた。

五十一議會に於て貴族院、衆議院に於ける質問等は云ふまでもない。斯く聯續的に國議がこの問題に對して終始一貫して居るので、終に政府も其言明を實行し、今年昭和二年二月九日之の問題を再び樞密院の議に上せ、樞密院は斷然留保徹廢を決議し、政府も直ちに奏請して御裁可を仰ぎ、外務大臣の名を以てジエネーブに、年齡留保撤廢の訓電を打つに到つて、年齡留保の問題も一先づ落着した次第である。

然し尙一方に前借制度による滿十八才よりの公認賣淫を許可して、世界的に前述の婦女禁賣條約に無條件加入を爲したる帝國政府の今後の措置は活目して見るに値するものがあらう。

婦選運動の陣頭に立つ人々

三、久布白落實女史

伊藤仲子

久布白落實――初めてこの五文字にぶつかつた人は何處までが姓なのか、女か男かに、まづ當惑する。然し乍ら一度實物を見て了つたら、恐らく誰でも忘れる事の出來ない印象を刻みつけられ、珍らしい名前と共に、我が久布白女史は、多くの人の腦裡に永久に殘る。

尤も婦選運動の陣頭に立つ人としての久布白女史は、日本の廢娼運動、矯風運動を負ふて立つ久布白女史よりは未だ知られて居らず親しみも少いかも知れないが、その代り過去の久布白女史よりも、一層婦人大衆の間に、その存在を確立しつゝあるとは疑ふ事は出來ない。そこに久布白女史個人として、玆數ケ年の間に大きな進展を私達は見出さずにはゐられない。

四尺何寸かの體軀を余り立派でない黑つぼけた洋服に包み、大きなカバンをぶらさげて議會に、內務省に、警視廳に、全國往かざるなき感ある久布白女史も、ほんの二三年前まではそれは全て、女史が半生を傾け盡して來た矯風運動、廢娼運動の爲であつた。婦人矯風會幹事の重任を双肩に荷ひ、日本の矯風運動を矢島楫子刀自病んで以來負ふて起つた久布白女史なのであつた。

然し大正十三年の秋遂に我が久布白落實女史は、改めて全日本婦人の爲に、婦人參政權運動の爲に天來の聲をきいて決然起つたのである。あの人並以上に小さい肩に、從來の荷の上に自らこの重荷を背負ひ上げたのである。

『久布白さんの腹にはまる迄』といふ事が、女史を知れる範圍の人々にはよくいはれる。つまり久布白さんは物事に手を出す前に、腹にはめるのに中々時間が入るんだが、その代り、はまつたとなつたら、大變な勢で、必ず成就せしめるまで進んでゆく類の人なのである。

婦選運動といふ實際運動に對して、久布白女史は數ケ年を祈り、考へて暮して來た。そしてその最後に、遂に起ち上つたのであつた。それだけに此運動に對する女史の態度は實にめざましい。婦選獲得同盟を產むについて、又生れて以來女史は常に白熱的な働らきを献げ續けて來てゐる。

今や矯風會の久布白落實女史は、新に婦選運動の久布白落實女史として全力的な活動を示しつゝあるのである。そこに人間としても幅も深味も增した女史を見出さずにはゐられない。婦選獲得同盟の如き廣汎な範圍に亘る分子を糾合してゐる團體の首領として、創立以來信望を集めてゐるのも、今日の此女史なればこそ。まだ四十歲を少し出た働き盛り、在米時代白熱的な戀愛から結婚した直勝氏を數年前亡つて以來二子は母堂に托して、全く社會運動に身を獻げ盡して居る。

人も知る一代の文豪、德富蘇峰氏の愛姪、力の人、熱の人、誠の人として捨身の女史が自ら飛び込んだ婦選運動である。その活動こそ推して知るべきである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界の平和と婦人參政

ドクトル・オブ・フイロソフイ
マスター・オブ・アーツ　和田富子

理想なるものへ

『魅せられたる魂』L'Ame Enchantée』の第三卷のモットウにロマン・ロランは、スピノザの言として次の句を用ひてゐる。

『平和とは、戰の無いと云ふ事ではない。平和とは魂の活力から生れた所の偉大なる張りの事である』

この『魂の活力から生れた張り』こそはすべての『理想なるもの』への不斷の苦鬪の源泉であると思ふ。其日其日が先づ〱樂に暮して行ける大多數の有閑階級の或人々に取つては、婦選の問題などは、何の必要あつての物好きかと思はれもしやうし、ましてや、世界の平和の爲めに働く等といふ事は、社交好きな婦人達の外國人との園遊會位の他は、隣邦近國の戰爭で、良人が金儲けをする妨げになつては困ると考へられる位かも知れない。

ことに平和主義とか人道主義とかは、何となく、西洋思想の樣に思はれて、ことに近頃の樣に反動思想の時代に於ては、平和主義等と云ふ事は一種の外交辭令に成つて來つゝある事は殘念な事である。それと云ふのもやはり、魂の高所にひらめく力强い原動力として其平和の理想が理解されて居らないからであると思ふ。

東洋の平和主義

遠く求めずとも、平和の理想を、この混沌たる現在の世界に體現して居る人は、純東洋人たるガンディである。西洋の平和主義こそ、今や身を低うして、東洋の平和主義に學びつゝあるのである。ガンディの無抵抗主義は實に魂の戰ひである。只に無抵抗といふのではなく『右の頰を打つ者に左の頰をも向け、一里の公役を强ゐる者と共に二里行く』處の難業苦行である。ガンディは『若き印度』に向つて、この積極的な愛の『直接行動(彼の言)』を歡喜を以て力の續かぬ先迄もやれと、インスパイヤーする。マハトマ・ガンディの無抵抗平和主義は、彼の深い宗敎的體驗から來て居る愛の受難である。

婦人平和主義者の信奉する平和主義は此の種の宗敎的理想主義の情操なのであつて、所謂外交的空虛なる辭令とは天地の差がある。ジエーン、アダムス女史にしても、マーセル、カピー女史にしても其他有數なる婦人平和運動の指導者達は、常に此の理想の高處から靈感を受けつゝ活動をつゞけて居る。

婦選獲得より平和へ

然らば人類すべてに係る平和の理想を實現して行く爲めには、參政權を持つといふ事は餘りに當然にして必須事である事は言をまたない。一八四〇年奴隷廢止の聲がやうやく高くなりロンドンに於て、奴隷廢止委員なるものゝ集合があつた。此の時米國から出かけた委員の中には數名の婦人も在つて、熱心な奴隷救濟の爲めに働いて居た。然るに大會が開かるゝや、婦人は單に女なるが故に議場に代員たる事を英國側の委員に指摘されて、遂に、米の熱烈たる代議員ギアリソン氏等と共に、席を蹴つて歸國して了つた。即ち婦人達は自分達こそ奴隷的待遇をされる者である事を感じ先づ、女性の奴隷たる事を解放するの急務を痛感して、それ以來、婦人參政權獲得運動を盛にするに至つたのである。フランス革命の天賦人權論は、其の婦選運動の祖母たるメリー・ウオルストン・クラフト女史をして立たしめ、奴隷解放を中心とする南北戰爭は米國の婦人をして、婦人の奴隷生活を解放して政治に於ても自由人たる事を主張せしめた。

世界平和と女性

世界大戰は遂に堰を切つて落した樣に、英國婦人(一九一八年)にオランダ、デムマルク(一九一五年)の婦人に革命後のドイツ、ロシアの婦人に、そして、米國の婦人達にも(一九二〇年)參政權を賦與して了つた。フランスの如き特殊國でさへも一九一九年卽ち大戰後の趨勢止み難く婦選案は下院を通過したのであつたが上院に於て否決された。

今日世界平和運動にたづさはつて活動しつゝある婦人の多くは、やはりいづれの方面に對しても、先覺者であつて、昔日の婦選運動陣頭に立つて働いた人々である。又婦人として最大の關心を以て集注しつゝある問題は世界の平和事業である。最近のニウースに依ると昨年末十二月五日から十日迄、婦人參政權協會の驍將たりしキアリー、チャプアン、キヤット夫人を座長として、米國婦人有權者大會は、平和問題を中心として會議を開いた處、反動的米國工業家連中や軍事局あたりから大分反對を買つて、キアット夫人は、ジエーン、アダムス女史等と共に、ヴオルシユビストとして黒表に上げられたとの事である。米國に於ては今日平和運動は大分骨の折れる事らしく各方面からの通信が一致して居る。

然し乍ら婦人が參政權を得てから世界の平和の爲に貢献した事は實に大きなものであつて、彼のハーディング大統領の華府會議を成らしめたのも、又ウイルソン大統領をして國際聯盟の基礎を置かしめたのも、はた又ロカルノ會議や其他の國際間の調停を可能ならしめ兵器に訴へる戰爭を防止し來つた事は表面に現れずとも大きいのである。ことに疲弊せる戰敗國の救助や國民間の感情の融和には婦人からでは出來ぬ多くの貢献がある。而かも、有力なる平和事業を遂行しつゝある婦人達は參政權を持つた先に醒めた國の婦人達であつて如何にしても、文化の指導力はそれらの國人にある事は事實である。

平和の創造へ

翻つて我々東洋婦人の現狀を顧るに世界大戰に依つても醒めさせられず、地震があつても、隣邦支那に戰爭があつても、一向に覺醒して、支那婦人達と提携し、又は印度の婦人達と連絡を取り、米國の婦人と共に平和を創造してゆくと云ふ『魂の張り』が無い。先づ奴隷生活の縛を破つて、人間並の權利を得て、眞の民族への義務に立ち度いものである。

雛をつくる

水町京子

—新聞紙もて雛を作るに夜半に及ぶことあり—

○

雛つくる紙をさらすと小夜ふけの廚の水にわが手はいたむ

かじかみしわが手やふれしこの雛の冠はいたく曲りゐるかも

日を追ひてうつしならべつゝほしてゐるひいなは猫にかまれたりけり

○

この家の母のはゝよりつたはりてこゝだの人を知れるひなかも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦選講座

英國婦人と參政權（その三）

ガンドレット恒子

絶望より曙光へ

自由黨内閣の首相グラドストン氏の反對と亂暴な申分に因つて、一八八四年（明治十七年）の六月の議會に思ひ掛けない敗北をした婦人參政權論者は一時絶望の淵に陷りました。然し其は本當に新しい曙光を見出す前提であつたのであります。と云ふのは、一八八四年の選擧法改正によつて選擧運動者を金で動かすことが出來なくなつたので、保守黨のチャーチル卿や、サー・アルガノンスウヰク其他の人々は、金で動いて居てくれた運動員の代りに、無報酬で婦人に働いて貰ひ度いと、其助けを求めて來ました。其が形になつて現はれたのが、即ち保守黨後援の目的で結ばれたプリムローズ・リーグといふ婦人團體であります。無報酬で喜んで保守黨の加勢をした婦人達はつまり「身を捨てゝこそ浮ぶ瀬もあれ」で、此無駄骨折のやうに見える仕事に携はり何時とはなしに、婦人の政治的實力の大なることを男子に承認させる機會を作つたのであります。

婦人自由同盟の創立

保守黨のやり口を見て、初めには口を極めてプリムローズ・リーグの婦人等を罵つた自由黨は、矢張保守黨に對抗して行くには、同じ方法を採る事が賢いと見て取つたので、婦人自由同盟をグラドストーン夫人指揮の許に組織するに至りました。此團體は最初は單に夫達の運動を助けるに過ぎなかつたのですが、追々自分達の位置の如何にも不公平な事を感じ初め、運動が進むにつれ會員の中に婦人參政權論者がめき／＼と增へて來て、終に一八九〇年の大會に於ては參政權獲得に反對である理事十五名の再選を拒み、續いて別に英國婦人自由協會を組織して同盟に對抗するに至りました。かくして婦人參政權論は單に自由黨婦人の一部に止らず次第に色濃く自由黨内部に根據を擴げて行つたのであります。

婦人の政治的實力は見逃しすべきでないことは、忽ち全英國政治家の注意を惹き婦人參政權に反對な政治家まで、選擧に當つては婦人の援助の必要なことを認むるに至りました。法律に於て婦人に拒絶せられた婦人の參政は事實に於ては段々と公認せらるゝに至り、終にはグラドストーン氏や彼の頑强な婦人參政權反對論者のアスキスまでが、婦人の援助に對して謝意を表したばかりでなく、之を重要視するに至つたのであります。

一八九二年（明治廿五年）の議會にサーアルバート・ロリット氏が婦人參政權法案を提出しましたけれども婦人の援助は喜んで受けながら、權利は與へ度くないと云ふ、卑劣極まる自由黨の反對に由つて、第二議會にまはされる以前に破れてしまひました。

參政權の論戰盛となる

然し失敗毎に此問題の色は益々濃厚になつて來ました。全然問題にしない人達までの間にも盛んに論議されるやうになり、反對論者のアスキス氏、ジエームス・プライス氏、サー・ヘンリー・ジエームス氏等と、贊成論者バルフオーア氏、コートニー氏、ウヰンダム氏の間に盛な論戰が起りました。反對論者の論點は、若し婦人參政が其ほど當然な事であるならば、なぜ萬事に進取的な殖民地や合衆國や、歐洲大陸の諸國に於て婦人に參政權を與へられて居らぬかと云ふのでありましたが、其點に於ての反駁は、南オーストラリヤ、ニウジーランド、米國のコロラド、ユータ、アイダホー、フヰンランドノールウエー等相次いで婦人參政權を與へて居ると云ふ事實を擧げて、反對論者の云ひ分の不條理、不當を證明したのであります。

反對運動

一の運動が起る時、必ずその動力に等しい反動の起つて來ることは宇宙の原理であります。反動力の强い人間社會に新しい運動が起らうとする時、其が何人の目にも不當のものとして映つて居ても、或る一部から必ず手ひどい障碍の投げられるのは普通の事であります。婦人參政運動が堅い決心と、不斷の努力を以て進んで行きつゝある間に、同性間の反對運動が男子の保護の許に起つて來たのでありました。

ウオード夫人、ボター女史、クレイトン夫人は一八八九年頃から「十九世紀」紙上に反對論を揭げて居たのでありますが、彼等の論點は、要するに婦人解放は既に其行くべき處まで行つて居る故に、之れ以上を望む必要なき事、婦人は家庭内の者として造られた者である、特に男子の如き政事的手腕も判斷力をも與へられて居ないのであるから、隨つて參政の資格なき事の二點に纏きて居るのでありました。然るに判斷力に乏しい政治的手腕のないと自評する婦人達が反婦人參政聯盟を組織して、婦人參政論者に對抗した事、家庭内に止まるべく造られたと自認する婦人達が、頻々と公開演說會を催し、壇上に立つて反對演說を試み雄辯を振ふ事などは、皮肉にも、反證となつて反つて、婦人參政權論者の論議に裏書したやうな形となつたのであります。

南亞戰爭

ナポレオンの沒落後、英國の統治の下にあるのを快く思はない和蘭人が南アフリカのヴアール河を越えた所に小さい共和國を造つたのは十九世紀の初めでありました。然るに年月の重なるにつれ、英國人の多數が其處へ闖入して來るやうになり、十九世紀の終り近くには人口の三分の二が英人であると云ふ有樣になつて來ました。是に於て此等の英人等は規定以上の税金は徵收されながら、何等の參政權をも與へられないことを不當として幾度か投票權の許可を共和政府に要求しました。けれども時の大統領クルーゲルは之に對して頑强な拒絶を與へましたので、一八九九年（明治卅二年）英國政府はトランスバール共和國に向つて宣戰し、玆に四年に渡る南亞戰爭の幕が切り落されたのであります。

國難に際しては、擧國一致の精神に基き、婦人參政權運動も中止の姿となつたのでありましたのでありましたが、此戰爭の原因が參政權問題であつただけ、實際に於ては婦人參政權の論據を强固にし、愈々婦人の此要求は必然的要求であることを社會一般に公認せしめる事となつたのであります。（未完）

□大阪に於ける婦選運動

全關西婦人聯合會大阪部は、昨秋以來參政權研究部をおいて、實際運動に着手したが、(創刊號恩田和子氏執筆參照)その後政治部と改稱、一月二十六日の部會にて婦選三案の議會請願運動を起すとに決し、講演會、パンフレット出版等により、運動を全關西的のものとする事になり、二月廿三日代表委員として部長井出菊江永田清美二氏請願文を携へて上京。東京側の援助をえて直接對議會運動を開始した。

尙二月二日夜開かれた、政友會大阪靑年部主催『婦選即時賦與可否』討論會にも、委員數人が出席、大に意見を闘はしたが尙早論多數で否決された。

家庭より見たる婦選運動

石本靜枝

□

『婦選』編輯委員の方々から矢のやうな御催促があつて、重い筆をトボ〳〵と運ぶ事になりました。家庭と云ふ狹く限られた舞臺を自分の働き場としてゐる婦人達にとつては、數行の原稿でさへオイソレとは片づけられないのであります。現在一般の家庭經營や子供の養育と云ふやうな仕事は、原稿紙にペンを走らせる事や演壇に立上つて意見を發表すると云ふやうなビジネスとは、あまりに氣持の表はし方に差があるやうに思はれます。

然し女性の魂の願ひは、この二つのどちらの仕事に携はつてゐるものでも、同じ事でありませう。決して異つた性質のものではないと思はれます。それ故、一月號にあつたある方のお言葉のやうに、お米を洗ふそのひまにも、婦選獲得を心の中に叫び續けてゐる家庭婦人が、その熱情の一端を、假令筆の運びはたど〳〵しく共、刻々に之を外に向つて發表する事は、婦選獲得の目的に向つて歩みを續けて行く、婦人全體の務めの一端では無いかと思はれます。

□

らいてう氏は、第一線へ出て戰ふ婦人運動者が、背後に女性の大きな味方の力が感じられない時の寂しさを云はれました。此のやうな婦人運動の先驅者の歩まれた荊の多い道は、此等當時の婦人達の尊い努力によつて餘程明くされました。目的に達して居らない事に於ては、當時も、現在とても同樣ではありますが、運動の力強い事に於ては、餘程の進歩のあとが見られます。

婦選運動が寫眞入りで物珍らしさうに新聞に取扱はれる時には、家庭婦人は物に驚いた龜の子のやうに、首をひつこめました。所謂良妻賢母は、それらの婦人達が同性の中に存在するさへ、恥かしく思ひました。

□

然し婦選獲得が叫ばれて數年に及ぶ今日の家庭婦人は、もう少しの事には驚かないやうに活潑になりました。そして第一線に立つ運動者は『女政客』的の突飛さから脫して、極めて落付きある態度となりました。二者の融和が益々密接になる時、運動はいよ〳〵力強いものとなります。デリケートな感情の持主たる女性が第一線に立つ事は尊い犧牲であります偉大な努力であります。

議會のシーズンに當つて泥仕合の擧手の間に、眞に異性に理解ある男性を見出さうとする事の困難な事業に當面して下さる勇敢な婦人戰士、殊に婦選獲得同盟の運動員達が、健全なる印象を彼等男性の腦裡に刻みつけて來たその功績を目のあたりに見る私は、眞に深い感謝の念が胸底から湧き出でるのであります。

ビラ撒きの如き運動が果してどれ位の效果を收めるものかは知りませんけれど、大道に顏を曝して宣傳ビラを撒く事を、好きでやる方は少ないでせう。風と埃の辻に立つて、女性が自尊心を傷けまいと保護しながら數々の無理解な言語や冷い眼と戰ふそのはたらきにも、家庭婦人は「有難う」と走せよつて手を握り度い心を持つのであります。

表面に現はれたもののみではありません。乏しい財務を今後ともまだ何年かやりくりしなくてはならない苦勞、全體の運動を四六時中、頭に置いて計畫して行く幹部の間斷なき努力こそ、全體の機關を動かす大きな原動力であります。

□

家庭の婦人達がこれらの實際運動の狀況をより悉しく知る時は、運動に對する理解は愛情を生み、愛情は更らに熱情と化して參ります。その時こそ第一線に立つ運動者達は何ものをも恐れない強い味方を感じて、その活動は最後の目的を獲得せずには熄みません。

それはまだ新らしい歷史が物語つてゐます。米國婦人がいよ〳〵婦選を握り得やうとする當時、運動者達の一隊が街から街へ練つて歩きました時、夕やみの薄暗さを利用して、帽子を眞深にかむつて、この行列に加はつて、どこまでも、どこまでも歩きまはつた多勢の婦人達は皆街に買物や用達に出た主婦や娘達でありました。

自分達の貞淑な妻や優しい娘達までがこの擧に出た事を、後で知つた男子達は、もう『婦選』に反對をとなへる事の無意味を知つたのであります。（二、二、二四）

春の音づれ

關口冬子

ひそやかに春の小草をみごもれる大地の上にそゝぐ春雨

紫の夢みごころに友禪のほころびつづる如月の晝

うら淺き春の日すがらひとり居て花の咲く音を胸にきかまし

心にて奏づる春の調べをばわれとわがきく早春の窓

雪どけのやさしき音の待たるゝと火の傍にたよりをば書く

フース・シー

山田わか氏　嘉吉氏夫人、穩健なる婦人思想家として名高く、個人雜誌『婦人と新社會』をも編輯して居られる。

和田富子氏　日本女子大學出身、數年米國に止まり學位を得て歸朝、目下九州大學助手の職にあるが、近く母校に歸り、新設の兒童心理研究所に入るはづ。

石本靜枝氏　男爵惠吉氏夫人、夫妻して米國に學び、我國產兒制限運動の先鋒として知られてゐる。

水町京子氏　夙に水甕同人として短歌界に堅實なる地位を占め、近來は同志と共に婦人短歌雜誌『草の實』を發行してゐる。本名宮坂みち子、現在淑德高女に在職。

關口冬子氏　實業家瀨氏夫人、永く大阪社交界に才藻を唱はれた人、數年前歸京以來調布の田園に閑居、愛嬢の教育に專念してゐられる。

鹽原靜氏　婦選獲得同盟議會運動委員會委員長として新進氣鋭の人。少年保護協會にも盡して居られる。

八木橋きい子氏　氏も亦婦選獲得同盟の會員委員會の委員長。坂本、萩原氏等と共に新婦人協會以來の婦選運動家である。

婦選と民衆政治の基礎

山田わか

□

政治は力だと云ひます。それに相違ありません。けれども、この力は丁度、船の進水式の時に電氣ボタンを押す力であることを忘れてはならないと思ひます。一見、ボタンさへ押せば船は海上に浮み出て、その目的は達せられたやうな觀を呈しますけれども、併し、船の構造が完成され、周圍の障碍物が取り去られて既でにつなを切りさへすればすぐに非常な勢ひですべり出すやうに用意が出來てゐるからです。

内部の準備なく外部の障碍を取り去つて無いならばどんなに努力しても船は水上に浮き出しません。凡て政治問題もこの範圍を出てゐないと思ひます。

選擧權を獲得しさへすれば、それで、政治上働く機關が備つたやうに思ふならば、それは船の構造を考へず、外部の障害を思はずに進水式の擧行を企てるのと同じです。さう云ふ狀態で假りに進水式がすんでも、つまり、選擧權が獲得されても、それは大した價値のものではない。商品たるの運命を恐らくは逃れられないかも知れません。

□

内部の構造の準備と、外部の障害を除去すると云ふ事を具體的に申しますなら、一體、政治機關が腐敗し易いのはどう云ふ譯か、どうして金力が政治機關をその手に入るゝかを先づ明らかにし、政治生活の性質と其の組織を決定する環境的背景を造ること、自由な公平な政治社會を實現するために現代の必要に應ずることの出來る、そして、民衆の信頼を受けるに足りる指導者の概念を造つて置くこと、殊に、注意しなければならないことは代議政治の組織に附着してゐる心理學上の問題を十二分に解決して置くこと、殊に、都市生活の心理狀態と農村生活の心理狀態とを明らかにし、一般及び地方の政治問題を心理的に解剖すること最後に政治現象と社會現象とを數字的即ち統計的に解剖した地圖やうなものを製作して置くことなど、かう云ふことは議員政治と云ふ殊に普通選擧を基礎とする政治を成功せしむるにはどうしても無くてならない準備です。

□

これ等の準備なくて議員政治の成功を希望するものは、どんなに政論そのものに精通しやうと、政治そのものにどんなに熱心であらうと、どんなにその必要を感じていやうと、實に、それが國民の生命それ自身に關することであつても、要するに知力的のバベルの塔を建設しやうと試みるのと同じで、即ち、第一義の目的には同意して建設にあつまつてもいよ〳〵仕事に取りかゝると意志不通、即ち、急に言語不通となつて作業不可能となつたバベルの塔と同じやうに仕事が出來なくなつて、結局は同志打ちが始まる。

大統一を完成する使命を持つて居ながら、支離滅裂の狀態を呈する無産階級運動の運命に陷ります。婦選獲得を希望する私共はこの狀態をくり返へさないやうに内部の構造を準備し、外部の障碍を取り去ることに最大努力を用ひたいと思ひます。

婦選ゴシップ

婦選運動の闘將市川房枝女史、昔名古屋の女子師範在學中、幽芳の『乳姉妹』に夢中になり、我名に因む房枝が大好き當時は野菊の花に夢中になつたとは御當人の直話。

××

獲得同盟の財務理事役、田中芳子夫人が最近守屋東女史から頂戴した名批評『田中さんの笑ひ聲は櫻の花の散るやうな……』と。適評か否かは婦選の會合に御出席の上御確めを。

××

婦選の中央委員會を必ず傍聽する女教員×氏。會合の雰圍氣に陶醉して興奮の余り、其晩はきつと眠れないとのこと。試驗を控えて、眠氣ざましの濃茶の入用な方は、ならつて傍聽の事。

なぜ婦選がほしいか？

八木橋きい

□

女が斷髮した、男が長髮にする等現代は總て女性が男性化し、男性が女性に化する傾向にあるからなどゝ、冗談に私達は婦人參政權を叫んでゐるのではありません。一國一社會の基礎たる一家の主婦として、又やがてはよりよき社會を造るべき子供の母親として、女性も亦男性と同樣國家社會の政治に參與する事は、當然の義務として婦人參政權を唱へるものです。

政治は本來男子の占有物であるなれども、其一部分へ割込ませて下さいと、譲歩を乞ふのではありません。人類の半ば、一國の半數を占むる處の人間である女性として當然な要求なのです。ギリシャの哲學者達に依つて不完全な人間即ち半人間だなどと云ふ侮罵に對しても、一個の獨立した人間であると呼び掛けなければなりません。故に暴力を以てまで奪つた太古の母權時代に返せとまで云はないのです。只政治機關に參與せしめよと要求するものです。

□

然かも此議會政治に參與する處の選擧權は、ロシヤは一九一七年、イギリスは一九一八年、ドイツは一九一九年アメリカ合衆國は、一九二〇年以來與へられてゐます。オーストラリヤ聯邦の如き一九〇〇年、聯邦の一部たるニュージーランドは一八九三年に、既に既に婦人參政權を認めてゐるではありませんか。

□

政治は私議すべきものではない、王候貴族一部少數者の專制に任すべきではないと云ふて、議院政治を創めた民衆（男子）が、曩に要求した事を故意に忘れて女性に對し門戸を閉ざして知らぬ顔をする事は、矛盾であり滑稽でもある。良き妻であり賢き母であれとは、單に男性のみに對してでなく廣く人類を對象としての譯でなければなりません。然るに現代の如く婦人を政治圏外に置きざりにして男性の唯一の相談相手としての忠告をさへ一切嚴禁されたのでは如何にしてより善き社會が建設されませう。

□

生活問題にせよ、勞働問題にせよ、女性には女性としての立場があり主張があります。故に婦人にも參政權を認め、立法等に際しても婦人の意見をも用ゆべきですのに、これをもなさずして家庭教育を云爲し子女の躾を母性の全責任として責める樣な不合理な事が有りませうか。

□

普選を與へられたる青年男子は競ふて普選に對する知識を求め樣として研究してゐます。

婦選を與へられたる婦人も必ずや其責任を全ふする爲めに、より以上の自責を感じて其軛を負ふものです。

私達は重ねて婦人解放を叫びます。母として妻として一家の主婦として、婦選獲得を社會生活上當然の要求と信じます明治初年民選議院設立の大運動を起して議會政治を贏ち得た如くに熱と力とを以て一日も早く其實現を望んで止まないのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自由民權の歌(自傳の一部)

福田英子

三、納涼會

——自由の歌——

同じ年の夏、自由黨員の納涼會を旭川に催ふすことゝなり、女子懇親會にも同遊を交渉し來り是非贊成するやうにとの勸めに、元老竹內、津下の二老女史と謀りて交渉に應じ同日夕刻より旭川に別に船を浮べ、會員樂器に和して自由の歌を合奏す、悲壯の音樂水を渡りて一入、隆曉轉た無限の感に打たれしことを今も尙明らかに記憶してゐる。(此自由の歌は、自由黨員小室信夫氏の作歌と記憶す。幸ひに歌詞明かなり記載して見ましやう。)

天には自由の鬼となり、地には自由の人たらん、自由よ自由、やよ自由、汝と吾が其中は天地自然の道なるぞ、千代も八千代も末かけて此の世のあらん限りまで、二人が中の約束をいかでか仇に過すべきさはさりながら、世の中は月に叢雲花に風、まゝにならぬは人の身ぞ、話せば長いことながら、昔し羅馬の國と聞く、民に自由を與へんと、數多の人の憂き苦勞、それをも知らで慾のため、ふたゝび帝位に登らんと、企てたりしシイザルは、共親友の手にかゝり議院の中に殺されたり、其親友の云ふことに、我れの羅馬を愛するは親友よりも尙深し、羅馬の民の望みなら吾が身も爰に諸共に、死ぬる覺悟はいとやすし。佛蘭西國のルイの帝、民を壓制なさんとて、千々に手業をめぐらせど、邪道は如何に正道に打ちかつことのなるべきぞ、民の怒りは火の如く亦洪水の溢れきて巖をも碎く勢ひに、いと畏こくも帝王の黃金を飾りし冠は、斷頭機械の上に落ち憐れ果敢なくなりたるは、誰をか恨みん壓制の自業自得といふべけれ　英吉利國の革命も同じ車の一つ輪きのふの王は、けふの賊、クロンウェールの手に持ちし自由の旗の靡きには、天地もめぐらすばかりにて、チャーレス王を擒にし自由の基を立てたりき。北亞米利加の合衆國、民は英吉利の民なれど、自由の民と成たさに故鄕の名殘りも厭ひなく、深山けいそ(けいそは荊棘の意なり)も何のその、いまだ踏みてし事もなき青海原を打ち渡り見も知りもせぬ亞米利加へ殖民なせし心根は如何に憐れと云ふべけれ、然るに尙ほも英吉利の絆の網は離られず、暴君汚吏の壓制に詰り詰りて國のため、義兵を擧ると聽くからに、吾劣らじと親も子も死ぬる覺悟で七年の長の月日の攻め守り、芽出度建てし合衆國、ワシントンの名に老ゆる昔と共に榮へ行く國の響や勇まし〻。嗚乎彼と云ひ是といひ、自由の爲めには昔より、數多の人の生き別れまた死に別れするものを吾が東洋の人ちやとて、土地に變りはあるなれどなどか心に變るべき、人の自由といふものは、天地自然の道なるぞ、圖めや勵め諸人よ卑屈の民と呼ばるゝな」

當時有識者が無智文盲の民衆に、自由民權の大義を宣傳せんため、或は一ツヤ節に作句して人口に膾炙せるものを記して見ましやう。

一ツトセー、人の上には人はなし權利に差別がないからは、この圖まんせ。

二ツトセー、二つとはない此の命捨てゝも自由が殘るなら、この厭やせぬ。

三ツトセー、民權自由の世の中にまだ目の覺めない人がある、この醒めさんせ。

四ツトセー、世の開け行く其の早さ親が子供に敎へられ、この馬鹿らしや。

五ツトセー、五つに分れし五大洲中にも亞細亞は半開化、この恥かしや。

六ツトセー、昔思へば亞米利加の獨立なしたる蓆旗、この勇ましさ。

七ツトセー、何故お前が賢くて私なんぞが馬鹿であろ、この分りやせぬ。

八ツトセー、刄で人を殺すより、政治で殺すが惡らしい、この罪ぢやぞへ。

九ツトセー、こゝらでもう目が醒めないと長袖は、その身の爲ちやない、この起きさんせ。

十トセー、虎の威をかる狐奴が、尻尾の見えるも知らないか、この畜生め。

十一トセー、火も喰はない內喧嘩やるから今日びの痩世帶、この氣を付けろ。

十二トセー、西と東に夜と晝、文明野蠻の分ちこそ、この恥かしや。

十三トセー、榮え行く世の其の本は民の自由にあるぞいな、この分らんせ。

十四トセー、四民一つの世の中にとぼけた華族の返り咲き、この馬鹿らしや。

是れだけ記憶して居ります、當時私の弟子が岡山から私を追慕して來ましたので同居して居りましたが、其少女が同志會合の節、面白き身振りで共一ツヤ節に和し舞踏致しますのが、是を書きます今も尙新たに老眼に映し思はず莞爾たらしめます。

餘事に渡りましたが、いでや納涼會の修羅場と化せし眞想を記して當時の政府が如何に人權を蹂躪し抑壓を逞しふしたか、五十年前の民權運動を夢にも知られぬ現代の智識階級者は實に幸福なるかなと私は羨ましく思ひます。まあ私が妙齡の身で奮起し其弊制惡法を除去しやうと思ひましたのも輕擧ではありません。(未完)

本號は女史が病氣でゐらした爲に、短いものしか御執筆願へませんでしたが來月號からは健筆を揮つて下さるはづです。(編輯者)

反響

▼『婦選』を手にして云ひ知れぬ嬉しさに打たれました大きい感謝を以て貪る樣に一言一字味ひました。私共が求めてゐたのはこれでした。早速會員にして戴き、出來るだけ盡したいと思ひます。(兒玉)

▼なつかしい貴姉から『婦選』を御送り下さいまして有難うございました。隅から隅迄拜見、尙友人や親類の人にまで回讀して居ります。めざましい警鐘を打たれた樣に存じます(栃木まつ)

▼すぐれし女丈夫達の眞の叫びに、いひ知れぬ心强さを覺えると共に、今更ながら現今の社會制度の變態に對して身內の血を躍らせてゐます。何事にまれ制度ノ改革は團結の力を要します。理解ある者は男女老幼を問はず『婦選』の旗下に馳せ參じて、人類成長の步を力强く踏み出さうではありませんか。(劔堂生)

▼一、二號を通讀して特に感じたのは、一般女性の覺醒を促すべき宣傳誌といふより寧ろ同志會の機關誌たる感の深いことでした。我々同志が婦選を唱へんとするに當つて、常に痛感するのは前號平塚氏或は淸水氏の御說の如く、如何に多數同性の反對が婦選に對する誤解と自覺に依るものであるかといふ事です。どうかもう一步踏み入つて婦選の何故に必要なるかより說き起し、以て反省を促すと共に第一步より入らんとする人に使したら發刊の目的により早く近づくのではないでせうか。(根本ふみ)

▼益々進行しつゝあるこの運動、先覺者方の御努力を感謝いたして居ります。『婦選』二部宛毎月御送り下さい。(日立第四校女敎員)

▼『婦選』の編輯ぶりには御世辭でなく感心してゐます。溌剌たる元氣は婦選運動そのものゝ元氣と見ることが出來るやうです。何卒その元氣が永續して『動かす力』の減退しないやう各員が努力を獻つてゐます。定價の廉い事勿論願くへ御よませになる爲めとはいへ、とても足許によりつけません。早く普及され發行部數に於て收入相償ふ日の近からんことを祈る。(久運松江)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦選問答

赤[illegible]子

◇婦選といふ言葉

A「大分婦選といふ言葉が耳慣れて來た樣ですね。新聞や雜誌も此頃では大抵婦人參政權といふ時に、この語を用ひてゐるではありませんか。」

B「餘程普及して來たと思ひます。とにかく活字の儉約になりますよ。」

A「一體誰れが作られたのですか。婦選獲得同盟創作の新語ですか。」

B「何でも穗積重遠博士が用ひ初められたと記憶します。それを婦選獲得同盟では創立の趣意書に「婦選なくして何の普選ぞや」と用ひたのが今日一般に用ひられる樣になつた初めなので、獲得同盟では爾來ずつと用ひてゐます。今婦選といへば、私共の仲間では婦人參政權運動の事も、婦選獲得同盟の事も、內至はその事務所をも意味してゐますし、機關雜誌にも御覽の樣にその語を用ひてゐるのです。」

A「この間或る人に『婦選』を見せたら、題だけでは何の意味か解らないといつてゐました。」

B「どうせ婦人參政權は言葉だけでは本當の事を知つて貰へないのですから、まづ題で不審を起させた上、其質問に答へて、運動の事にまで及ぶといつたやり方を私共はとつてゐます。面倒臭いだらうといはれますが、實際はきつかけが出來て、話がし易いのです。」

A「まあ、どうせ何でも初めから親しみはないものです。どし／＼用ふのですね。」

B「方々に電話など掛けるにも最初は一々參政權の團體でと說明してゐましたが、この節では婦選の一點張、耳から敎育といふ譯です。」

◇婦選運動の團體

A「それにしても婦選團體といふのが大分ある樣ですね。一體いくつあります。」

B「婦人參政同盟、女子參政協會、日本婦人參政權協會、婦選獲得同盟以外に現在この三つがあります。」

A「本年の議會運動はかういふ團體が聯合でやられたのですか。」

B「さうです。初めはこの他に婦人參政三派聯合といふのが加つてゐましたが、じきに脫退し、間もなく解散し、女子參政協會と、參政同盟に分れて合せられました。それから女子參政協會も途中から協調を破つた爲、聯合から除かれ、殘りの三團體だけ最後まで續けましたが、日本婦人參政權協會は殆ど實際には動かず參政同盟と獲得同盟が主として働いたのです。」

A「三派聯合といふのは誰々ですか。」

B「初めに眞新婦人會の西川文子氏婦人保護協會の河本龜子氏、婦人禁酒會の碧川かた子氏の三人で作られたのが西川、河本兩氏の隱退後、碧川氏が母性保護協會の小牧末子氏と主に三派の名でやつて居られたのです。それが解散して、今では碧川氏は參政同盟に小牧氏は女子參政協會に入られました。」

A「女子參政協會は？」

B「山根菊子氏が率ひて居られます。」

A「山根氏は參政同盟の方ではありませんか。」

B「もとさうでしたが、脫退して新に創立されたのです。」

A「すると參政同盟の現在は？」

B「高橋千代、高木富代氏等創立以來の人に、河口愛子氏が理事長として就任して居られます。政友本黨の中林代議士夫人や小學校女敎員界で鳴らした黑崎悅子氏も理事です。」

A「日本婦人參政權協會は？」

B「これは矯風會の法律部內におかれてゐます。萬國婦人參政權協會に加盟して居られますが、實際運動は殆どこれといつてやつてゐられません。尤も支部は、全國各地の矯風會支部の所在地にありますが。」

A「すると矯風會の會員がその會員なのですか。」

B「事實上さうなりますが、會の性質はもつと一般の婦人を會員とすることになつてゐる樣です。然し矯風會員以外には其存在は餘り知られてゐません。尤も外國には知られてゐる譯ですし、萬國參政權協會の大會には昨年は矯風會の宮川靜枝氏が代表として出席されました。」

A「然し矯風會の方々は久布白氏を初め婦選獲得同盟に加つて居られるではありませんか。」

B「獲得同盟は個人單位ですし、二つの同一目的團體に所屬することは規則で禁じる要もない程理論上在り得ないことなのですが、現在はまだ過渡期故變則的なのだらうと思ひます。」（續く）

片語

山本たね子

「兄たり難く、弟たり難し。」こう言はれる間柄こそ友達として互に最も樂しかるべきものだ。男女の間も亦然り。況や一生の伴侶たる夫婦間に於ては尙更のこと。

×

昔、主にへつらふ士は馬鹿大名を育て上げた。今のおしとやかな妻といふ方々は、その愛する夫をどんな風にして了ひませうか。御氣づきですか。

×

元々女は受動的なんですから……と。さうかも知れない。が、矛の切先を受ける盾が破れるやうでは、仕方がありますまい。

×

天と地、柱と敷居、何れも優劣あつての對等でも融合でもない。平等同權の人間としての男女性であり、夫婦であるが自然であり眞理である。

×

私達は各々先づ何より自分自身を眞により良く愛し育てませう。而る後互に同性の爲めに良い相談相手となり友達となりませう。而して女性の總てのレベルが男性と等しい迄に達した時、始めて男性も長い夢から醒めて、この地上には眞の[illegible]ない人性の花が開きます。

×

男だつて女から生れたんじやありませんか。……が而したゞこれからの私達は徒に生み生まされるのでなく、良く生む（多産ではない）母とならなければなりません。良く生む兩性の間から、展け行く人間界こそ、眞に天界に等しいものでありませう。

强きものよ我等は男女性の母なり

婦選案内

本欄は讀者の御便宜のために設けたものです。求人求職貸買其他雜件の簡單なる廣告にどうぞ御利用下さい

代金は　三行一回　五十錢（前金、姓名在社は十錢增）

▼求　人▲

家事手傳ひ廿歲前後裁縫好きの方を求む夜間勉强差支なし（姓名在社）

▼求　職▲

家庭敎師被雇度　通勤にて尋四以下の御子供さんのお相手いたし度し、當方女子師範出身（姓名在社）

婦人子供服裁縫師被雇度　當方熟練者住込みにてもよし、編輯部內伊藤へ

婦人雜誌記者　被雇度高女卒經驗有給不望（姓名在社）

▼貸　借▲

求間　芝公園或は代々木、千駄谷驛附近に閑靜なる間を求む家庭的にお世話下さる家を望む（婦人會館內吉田）

貸間　新築離室南向三間階上三、四半、階下六疊希望の方は面談を乞ふ（小石川原町はノ二成田）

▼雜　件▲

淑女を護る（女子柔道護身術）登錄前金壹圓電光石火の眞劍技は悉く實寫解說何人も一流妙技に達すべし各女學校納書　伊賀國上野局區女子柔道普及會

優良大幅木綿廉價販賣

婦選運動資金調達の爲に優良大幅木綿を總元より直接取寄せて市價の二割安で御頒ちします。一釜（四反分）六圓三十錢。窓掛、敷布、和洋服下着、其他用途廣し。一般家庭に限らず、學校病院等より已に多數御注文を受く。至急御申込を乞ふ御注文次第代金引換小包にて御送りします。

婦選獲得同盟財務委員會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

愛宕山下より

□

この題目でかく本部だよりは至極大略に止まりますが、全紙悉くをよく讀んで下さつて大に補つていたゞきたいと冒頭にお願します。

□

議會運動委員會は前號で申上げたやうに、他の婦選團體と合同で議會運動に奮闘の日を續けその中心となつて今迄にない好成績を擧げ近日上程までこぎつけたので昨今は準備に忙殺されてゐます。詳細は塩原委員長の『提出される迄』を御よみ下さい。とにかく今日の議會運動はなさねばならぬ仕事をなすだけのとなのですが、實際問題として當事者の苦勞は並大抵ではありません。然し一切の毀譽褒貶の外に皆よく分を盡してゐます。

□

政治教育委員會が昨年中の仕事を形の上に纏めた政治讀本が實業之日本社から、別項廣告欄所在の如く出版されました。委員會の新年來の計畫である講演會は二月廿六日夜神田青年會館で催されます。今後は各無産政黨から出馬を願つて各黨の婦人に益する態度を明らかにして貰ふ事になりました。時節柄の項目なり婦選案上程も其前後といふので氣勢は大に擧つてゐます。

□

出版調査委員會『婦選』の編輯に全力を傾倒してゐますが、來月あたりからパンフレット出版の方に手が出ませう。『婦選』は中々諸方面で好評なので、一日も早く確定な基礎の下におきたいと諸種の計畫中です。

□

會員委員會は二月は準備の月でした。氣候のよくなり次第、東北、北陸方面にも東海道にも手を伸ばす豫定で計畫中です宿利委員長が永らく病氣歸省中の爲入木橋氏が新に就任されることになり、委員も増加しました。

□

財務委員會は病氣が多く、この下半期は殆ど積極的に活動が出來ない状態が續いてゐます。どうか有志の方々は特にこの方面に御援助下さい。別項廣告の木綿は十分に御すゝめ出來る品、御求めを御願ひします。

□

毎月第一、第三の金曜日の夜六時から本部で中央委員會が開かれます。どなたも會の實状を御存じになりたい方は傍聴に御出掛下さい。平生は毎日十時から五時まで事務所を開いてゐます。幹事と書記がいつでも居りますから番茶位は差し上げられます、ぜひお立寄下さい。

編輯後記

×

內容充實の三月號を大威張で御目に掛けます。但し發行日が少々遅れた事は何とも申譯ありません。來月號は決してこの悔を繰返さない積です。

×

議會時節だけに、塩原、久布白氏の様なものを集めました。和田、山田兩氏のものが得られたとも大に喜んでいたゞけると思ひます。石本氏のもゝ大變いゝものです。和歌もお二人から戴けました。福田氏は今月號は御病體で短くしか書いて戴けなかつたので殘念ですが、來月號は其代り澤山御願ひしました。ガンドレット氏の婦選講座、評判がよいのでもう少し續けていたゞきます。巻頭言にも腕によりをかけました。なぜ婦選がほしいか、陣頭の人々の他に今度から婦選問答を續ける豫定です。何卒御批評なり御注文なり御寄せ下さい。

×

吉屋信子氏、田子靜江氏、帆足みゆき氏、大妻コタカ氏、星野愛子氏、なども今月は御病氣其他で戴けませんでしたが、來月から御寄せ下さる事になつてゐます。まだ〳〵原稿で困るといふ事には中々なりさうにもありません。といつて油斷してゐる譯でなく、全く大馬力なのですから。それにしても反響が全國から集るので大に力強く思つてゐます。殊にそれが地方の青年の間に多い事は興味のある事で、御参考にもなると思ひます。

×

本月は二十三日に締切つたので、それ以來のニュース、其他一切は四月號にゆづりました。

×

婦選案の上程を初め、議會、瓦斯問題に關する重要記事其他を滿載して四月號は三月末日にお手許に屆く様にする積です

×

定價の廉いこと、內容の充實したことは動かない批評です。何卒御吹聴御紹介下さい。もう少し宣傳的にとか、もつと程度を低くと云ふ批評と、もつと程度も高く、地味なのを可とする批評と、今の所二つの流れが、編輯に對する批評としてあります。編輯部でも大に研究して居ります何分皆様の御助力を俟ちます。

原稿募集

婦選獲得は三千萬の女性の聲でなくてはならぬと同時に『婦選』は皆様のものでも。何卒御自由に御投稿下さい。

一、**なぜ婦選がほしいか**……いろ〳〵の立場からぜひ婦選を要求する理由を明らかにして下さい。

二、**感想**……歌でも、詩でもかまひませんが、余り婦選問題から離れたものはとりません

三、**子供を抱えて夫と別れた實例**……母子扶助法の無い日本でこの問題で苦勞していらるゝ方は少くありません。御當人なり、御知人の實例をどし〳〵御寄せ下さい。

すべて投稿は廿字詰四十行內締切三月二十日『婦選』編輯部宛の事採用の分には『婦選』一ケ年分を呈す。

◇本誌定價◇

一部　金五錢（郵稅二錢）
一ケ年　金六拾錢（郵稅共）

▼代金はなるべく前金で拂込は振替ず

▼宣傳用として多數の御申込みに對しては左の如く割引いたします

五十部以上　一割引
百部　以上　二割引
二百部以上　三割引

▼廣告料については御申込み次第御相談いたします

唯一の職業婦人雜誌

白衣の友

尊い看護婦にある若き女に献ぐ

これを讀めば、時代におくれず、いつも必強く明るく働いことが出來る。

解り易くて實際の役に立つ……………專門記事
諸名家毎號執筆の………………………修養記事
第一に歡迎される……………………最近試驗問題集
生活を豊富にする……………美容、手藝、料理の記事
長篇、短篇滿載の………………………文藝欄
白衣生活に重要な……………………ドイツ語獨案內
自由に解放された……………………讀者のページ
その他、看護婦生活の伴侶となり、慰藉者となり、光となる諸種の讀物滿載

毎月一回發行　定價三十錢（郵稅共）

發行所　牛込區早稻田町二七　白衣の友社　振替東京七一二四九番

産婦人科
小兒科

随時入院の需めに應ず

診察　毎日　宅診午前　往診午後

院長　吉岡彌生
副院長　吉岡房子

東京市牛込區下宮比町四
東京至誠病院
電話牛込三五五

産科婦人科
小兒科

随時入院の需めに應ず

宅診午前　往診午後

四谷區三光町一二七
樹徳堂　井出醫院
電話四谷一四六〇番
院長　竹內茂代

明治學院長
前代議士 田川大吉郎先生著

早や判り 政治讀本

定價七拾錢
郵稅六錢
中型手輕判

己れの國が如何に治められつゝ在るかを知る事は其の國民の避け得ない教養の一つ

私は政治は判りません、政治には、手づさわりません、こんな言葉が、從來一種の誇りと、高尙さを含んで教養ある日本の男子の間に、取り交はされて何んの不思議をも感じなかつたのです。然し現在では婦人の間にはこれ程大膽な言葉は、愼しまれる事は何人も首肯する所であります。然し男として、其等の人々は、政治組織の大要すらを、ハッキリと會得して居られるか否かは疑はしいのであります。兎も角政治思想に目醒めつゝ行く事は國民文化の發達を物語るもので國民として一日も忽せにし得ざるは論を待ちますまい。

世界先進國の何れにもこの種の極めて通俗な政治讀本が行なはれつゝ在るのです。本書は即ち吾國に於ける通俗政治讀本として弘く世に薦めます。

最新刊

本書內容

前篇

政府の型……
政府の話……
議會の話……
貴族院と衆議院……
議事の方法順序……
衆議院議長……
代議士の話……
選擧の話……
豫算の話……
稅の話……
裁判所と警察署……
內閣總理大臣……
樞密顧問官……

後篇

天皇……
憲法の種類……
生れ乍の權利……
生れ乍の義務……
自由と云ふこと……
間違つた愛國心……
婦人參政權……

附錄

總豫算歲入……
同　歲出……
日本政府の借金……
英國政府……
議會の起原……

東京京橋南紺屋町
振替東京參貳六番
實業之日本社

本誌定價 一ケ年六十錢(郵稅共) 一部五錢(郵稅二錢)
昭和二年二月二十八日印刷納本
昭和二年三月一日發行
編輯印刷兼發行人 出版委員會委員長 市川房枝 芝區今入町[illegible]番地
發行所 東京市芝區愛宕町一ノ二五 婦選獲得同盟 電話青山三〇一四番

女性雜誌『扉』 主幹 久連松弘

「扉」のモットー
思想・學術・理論・信仰と實際生活との融和

マスター・オブ・アーツ
日本女子大學教授 **正田淑子氏推薦の言葉**

曰く……眞面目で而も極く平易でそして一つの主義主張を以て眞に女性雜誌として使命を果さんとする高い理想が紙面にて味はれます。世にありふれた不眞面目な非教育的女性雜誌が日に增加して居ります今日「扉」の生れましたことは女性のため大に喜ふべき事と思ひます。

三月號內容目次

女性の力……………………久連松　弘
使命を何處に見出すか……外村　義郎
融和問題に就て……………谷　龍之助
看護婦崇拜論………………賀川　豐彥
勸めつゝ覺へられる職業…梅山　一郎
快き女性のユーモア………生田　花世
木橋(詩)……………………友谷　靜枝
連載小說「萍」……………野村　愛正
醫師から患家への注文……井上　友子
洋髮ウエーブ………………古田　梅子
古洋服の利用たち方………三好總次郎
女兒用花時のスエター……高木美代子
其他各種實際記事多し

定價
一ケ月分　二十錢
半ケ年分　一圓十錢
一ケ年分　二圓二十錢
▼すべて前金の事
▼見本は二十錢前納
▼振替番號東京六四三五六番久連松弘宛

發行所・東京市外吉祥寺六三〇 **トビラ社**

東西女性發達史

池田林儀著
四六版四五〇頁
定價三圓
送料十八錢

著者池田氏は現代文明の墮落を、男子文明の行詰りと見る。そしてこの行詰つた文明と社會とを革新し、改良することを以て、女性の使命であると斷ずる。著者は原始女性を自由人となし、また太陽であると見る。而して、永い間失はれてゐたこの自由と光とを取り返さうとする運動を以て、婦人運動であるとする。著者はどこまでも女性文化の創造を强調する。現代の女性に向つて、男子文明の糟粕を舐めてはならぬと警告する。女性をして、自らの文明を創造して、その中に男子を抱擁せよと叫ぶ。女性の獨立なく、女性の自由なく、女性の文化なき人類社會を以て寂漠荒寥砂漠の如くであるとなし、女性文化の黎明を渴望して止まない本書は女性の過去を追想して、女性の未來に暗示を與へてゐる。

東京・日本橋・本銀町 振替・東京二九〇 **寶文館** 大阪・西區・阿波堀 振替・大阪三四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA